

取^{とり}
上^{あげ}
石^{いし}

むかしむかし、この大石^{おおいし}は、
まる山^{やま}というところ^{ところ}にありま
した。赤坂^{あかさか}の殿さま^{との}が、この
すばらしい大石^{おおいし}に目^めをつけ、
何十人^{なんじゅうにん}という人夫^{にんぶ}をつかい、
少しも傷^{きず}つけず、お城^{しろ}の庭^{にわ}に
運^{はこ}ぼうとしましたが、真坂^{まざか}ま
でくると、大地^{だいち}に根^ねをおろし
たようにぜんぜん動^{うご}かなくな
ってしまいました。そして、

